




收受年月日	議 長	事務局長	書 記
29・8・30			
第 69 号			

平成 29 年 8 月 30 日

埴町議会議長 大縄武夫 様

総務常任委員会委員長 鈴木 茂



所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第 77 条の規定により報告する。

記

1 調査事件 埴保育園の保育状況

2 調査の経過

本委員会は、埴保育園の仮設園舎増築後の運営状況について担当課からの聞き取り調査のほか現地調査を行った。

調査日 平成 29 年 7 月 12 日（水） 10：00～11：05
出席委員 鈴木茂、七宮広樹、藤田一男、割貝寿一、吉田広明、
下重義人、鈴木孝則
説明員 健康福祉課長、埴保育園長
職務出席者 大縄武夫議長、議会事務局長、書記
場 所 埴保育園

3 調査の結果

(1) 調査結果

待機児童解消のため増築されあとの保育園の状況について実際の保育状況を視察し、その後資料により説明を受けた。定員は 70 名であるが現在 85 名の保育が行われている。新しく建てられた保育室により保育状況については問題ないと思われる。新しい施設はやや天井が低いものの暑さについてはクーラーで対応できている。現状ではよくやっている。

しかしながら 8 月から保育士が 3 名不足となり替わりの保育士を募集しているが集まらず代替え保育士で対応するしかない状況である。保育園の問題点は、保育士の不足である。その対策として埴保育園では給与体系を 4

段階にランク付けを行い、保育士の確保に努めているものの現状は厳しい状況にあると思われる。

委員の意見として、足りなくなっただけからではなく常にフリーの保育士や正規の保育士を1から2名確保しておくべきであるとの声がありました。

最後に各自治体が保育士の取りあいになっているものの埒のこども達、そして町を維持してゆくためには保育士の確保が喫緊の課題であると思われる。

(2) 委員報告書

別紙のとおり

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

平成 29 年 7 月 19 日

大縄 武夫 議会議長

鈴木 茂 委員会委員長

様

提出者 吉田 広明

派遣目的 (調査等 名称)	埴保育園の保育状況の所管事務調査		
派遣の 日時	平成 29 年 7 月 12 日	派遣先 (場所)	埴保育園
内容	埴保育園の保育状況についての調査		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>1、 定数 70 名、現在 85 名の児童が通う。今年度 11 月には 91 名の児童予定数となり、国の面積割基準値 122 人には適合するものの、保育士の確保が難しいとの説明を受ける。</p> <p>2、 保育士さんの確保課題は、出産による退職やその後の子育て育児に複数年を要するので難しいとの説明もある。</p> <p>3、 本年 8 月以降の保育士は 3 名が不足する。内 1 名は事務勤務者が不足するが、専任事務としての採用ではなく保育士兼任での仕事となる。また、早番勤務(7:20~16:05)~遅番勤務(9:50~18:35)を含め、5 分割された勤務体系があるが、育児途中の保育士さんには、難しい勤務となる為、募集は更に難しいとの説明。</p> <p>4、 国の保育士配置基準では十分な保育ができないので、他の保育園の状況は 1.5~2 倍の保育士を配置しているのが現状である。</p> <p>5、 保育士確保にハローワークでの募集をしているが、保育士さん達の就労条件などの情報交換するネットワークなどもあり、絶えず地域間移動が行われている。正職員(任期付/3 年は町職員待遇)や、臨時職員、補助職員、代替保育士などでの給与階級などがある。</p> <p>6、 現在の待機児童は 4 名、新仮設保育施設はもはや狭く感じる。</p> <p>7、 時間外保育(7:20~18:35)や土曜日(17:30 まで)の時間外保育には、85 名中/38 名が保育している。</p> <p>8、 園開故事業は月/2 回程度、避難訓練は毎月実施しているが、久慈川の氾濫避難訓練は実施していない。</p> <p>意見：園長より、任期付職員を増やして欲しいとの相談がある。保育士確保は就労環境整備にも大切なことなので、長期的視野に立つ早急な人材確保に務めるべきである。</p>		

総務常任委員会所管事務調査報告書

日時 平成29年7月12日(水) 10:00

場所 埴保育園

調査内容 埴保育園の保育状況について

待機児童解消のため増築されあとの保育園の状況について実際の保育状況を視察し、その後資料により説明を受けた。定員は70名であるが現在85名の保育が行われている。新しく建てられた保育室により保育状況については問題はないと思われる。新しい施設はやや天井が低いものの暑さについてはクーラーで対応できている。現状ではよくやっているしかしながら、8月から保育士が3名不足となり替わりの保育士を募集しているが集まらず代替え保育士で対応するしかない状況である。保育園の問題点は、保育士の不足である。その対策として埴保育園では給与体系を4段階にランク付けを行い、保育士の確保に努めているものの現状は厳しい状況にあると思われる。委員の意見として、足りなくなっただけからではなく常にフリーの保育士や正規の保育士を1~2名確保しておくべきであるとの声がありました。最後に各自治体が保育士の取りあひになっているものの埴のこども達、そして町を維持してゆくためには保育士の確保が喫緊の課題であると思われる。

提出者 鈴木茂

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

平成 29 年 7 月 18 日

議会議長
委員会委員長 様

提出者 藤田 一男

派遣目的 (調査等 名称)	総務常任委員会 所管事務調査		
派遣の 日時	平成 29 年 7 月 12 日	派遣先 (場所)	埴保育園
内容	埴保育園の保育状況についての調査		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	現状ではよくやっている。まだ待機児童が 4 名ほどいるが、こども園が出来れば解消されるのではないか。こども園の早い完成を期待しています。		

総務常任委員会所管事務報告書

日時 平成29年7月12日 午前10時

場所 埴保育園

既存の施設と増築部を視察しその後説明を受けた。

増築により保育定員は増えたが人員の確保がままならない状況であり、任期付き職員を増やしたり賃金面での待遇の改善など努力はしているが保育士の取り合いなど厳しい状況は変わらないとのことである。

保育園拡充など待機児童解消にばかり目が行きがちだが、地域版パンデミックなどの弊害もあり、税制面での優遇も含め三世帯同居推進による家庭内保育を少しでも増やす政策など、老人介護同様、施設保育を減らすための施策も同時並行で考えるべきと思う。

また、保育費無料の政策は、ほぼ全入の幼稚園や義務教育とは性格が異なるので、金持ち優遇になる側面が考えられ無料化については慎重に検討してほしい

鈴木 孝則